

集団生活の中で生きる力を身につける QoLe Premo療育プログラム

ボディイメージ

自分の身体に実感を持ちコントロールする力。様々な動きの土台となる。運動だけでなく、手を使う作業（書く、折るなど）や感情表現にも影響する。

コーディネーション能力

自分の身体を思い通りに動かす力。運動だけでなく、手など身体を動かす作業に影響する。7つの能力にわけられており、バランスよく鍛えることが必要。

ワーキングメモリ

同時処理をする力。今している作業がスムーズになるだけでなく、先のことも考えられるようになる。運動、学習、日常生活、対人関係に大きく影響する。

QoLe Premoで 身につく 6つの力

コミュニケーション能力

言語的、非言語的に分けられる。言語を使ってやり取りするだけでなく、相手の表情や声のトーン、周囲の状況など言葉で表せない情報も読み取り、臨機応変に対応する力。

視覚認知機能

視覚的な情報を正しく入力処理出力する力。運動、学習、読み書きはもちろん、人の表情や周囲の状況を正しく認識するために必要な機能。

ソーシャルスキル

集団の中で他者と関わり、スムーズに生活できる力。周囲の状況を理解しながら、他者と円滑な人間関係を築くことに影響する。その場のルールを理解し守るためにも必要。

Point

QoLe Premoの療育プログラムは令和6年度子ども家庭庁から示された5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」すべてに適合しております。

※児童発達支援は08、09、14を除いたプログラムを提供します

CLICK!

5領域とは??